

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

下水道維持課

実施方針	Ⅲ 下水道施設の適切な管理	施策目標	1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	施策	① 計画的な維持管理および改築の推進
------	---------------	------	-----------------------------	----	--------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【施策目標】	流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組みます。							
どんな問題を解決するか【施策】	下水道施設の計画的な維持管理および改築を行うため、ストックマネジメント計画を策定し、膨大な下水道施設の状況を客観的に把握、評価することで、長期的な状態を予測しながら、計画的かつ効率的に下水道施設の管理を行い、建設投資にかかる経費の平準化を図ります。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①ストックマネジメント実施計画書を策定します。 ②汚水管長寿命化計画に基づき、南平地区において老朽管渠870mの更生工事を実施します。 ③青木、横曽根地区において老朽管渠1,310mの布設替え工事を実施します。 ④市内全域において老朽化が著しい区域の管内調査17,800m、管内清掃19,200mを実施します。 ⑤市内全域において汚水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。							
期間	平成31年4月		～		令和2年3月			
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	857,299	285,282	572,017	821,139	262,616	558,523	96%
	工事費	657,746	134,349	523,397	641,824	118,427	523,397	98%
	原材料費	17,874	17,874		17,262	17,262		97%
	委託料	181,679	133,059	48,620	162,053	126,927	35,126	89%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
人件費	92,825	92,825		92,825	92,825		100%	
どういう成果を達成するか【成果指標】	①ストックマネジメント実施計画書を作成できた状態。 ②老朽管渠870mの更生が図られた状態。 ③老朽管渠1,310mの布設替えが図られた状態。 ④管内調査17,800m、管内清掃19,200mが図られた状態。 ⑤破損等による小規模改修工事を実施できた状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容					
中間評価 □	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	①実施計画書の委託設計書を作成し、発注した。 ②管渠延長647m分の設計書を作成し、発注した。 ③管渠延長1,310m分の設計書を作成し、発注した。 ④管内調査前期分7,338mを発注し、完了した。管内清掃前期分8,452mを発注し、完了した。 ⑤市内全域において101件の改修工事を発注し、完了した。					
74点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	①実施計画書の委託業務について協議、指導を行い工期内に完了させる。 ②既発注分の工事完了及び、未発注分の工事を発注し、完了させる。 ③既発注分の工事を完了させる。 ④管内調査及び管内清掃後期分を発注し、完了させる。 ⑤市内全域において年間を通して補修工事を適切に発注、施工し、事故を防止する。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費	608,008千円	事業進捗度	自己評価	B 予定通りの成果を上げた	
		予算執行率	70%		評価者結果	B 予定通りの成果を上げた	
終了時評価	どういう成果を達成したか【達成状況】	①ストックマネジメント実施計画書を作成した。 ②老朽管渠726mの管更生工事を完了した。 ③老朽管渠1,308mの布設替工事が完了した。 ④管内調査13,715m、管内清掃20,574mを行った。 ⑤破損等による小規模改修工事を適切に実施することができた。					
74点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】	管渠工事については1工事当たりの工事区域をもっと大きくとれるよう工事範囲をより柔軟に考えていく。 管内調査については特定の範囲に拘らず、調査施工効率を優先し柔軟に範囲設定を行っていく。					

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり～ない	1 ほとんど～ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						5	5	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	4	
中間	18	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						5	5
終了	18	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						4	4
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	4	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						4	4	
中間	14	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						2	2
終了	14	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						4	4
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						4	4	
	合目的性	水道利用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						5	5	
中間	18	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						4	4
終了	18	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						5	5
予算	利益	水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						2	2	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						2	2	
中間	9	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						2	2
終了	9	成果	成果指標を上まわっていますか？						3	3
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						4	4	
	タイムコスト	時間＝コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						3	3	
中間	15	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						4	4
終了	15	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						4	4

5 事後評価

指標					R1	R2	R3	
指標名	老朽管渠更生工事(長寿命)	単位	m	目標値	870	750	-	
算出式・根拠				実績値	726			
指標名	老朽管渠布設替工事	単位	m	目標値	1,310	1,481	2,700	
算出式・根拠				実績値	1,308			
指標名	管内調査	単位	m	目標値	17,800	16,800	12,800	
算出式・根拠				実績値	13,715			
指標名	管内清掃	単位	m	目標値	19,200	17,200	17,200	
算出式・根拠				実績値	20,574			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。) A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない						評価者結果
達成度	C	一部の調査、工事において、管種による作業効率や現場の連続性を考慮したため、予定の延長に達しなかった。						C
効率性	B	老朽管渠の布設替えについては1工事あたりの延長を長くすることで作業効率を高めることができた。管更生については施工を要する作業範囲が局地的かつ分散されていたため、1工事あたりの施工延長を伸ばすことが出来なかった。						B
有効性	B	昭和30年代に布設した管渠の更新工事を行う事で、道路陥没の防止や管渠の破損、閉塞状態を解消することができた。また、事前の管渠ダメージ調査や中長期的な計画書を作成することで、予算の平準化を計ることができる。						B
説明責任	B	施工区域の住民へチラシや直接訪問により事前説明を行い、通過車両等についても看板により工事内容の表記を行った。						B
組織学習	B	複数ある管更生の工法についても組織内で連携、研究し、適切に施工する事ができた。						B
総合評価	B	老朽化した管渠の更新工事や布設替え工事を実施することで、計画的な維持管理を行うことができた。					次年度方針 現状維持で継続	B